

ワークショップ「計量分析からみる家族変動」開催のご案内

東北大学大学院文学研究科 田中重人

東北大学法学研究科グローバルCOEプログラム「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」の研究プロジェクト「少子高齢化社会の家族変動」(代表：田中重人)では、10月中旬におこなわれる「萩セミナー 2010」の一環として、ワークショップ「計量分析からみる家族変動：近年の日本社会における格差・意識・ライフコース」を開催いたします。この10年間におこなわれた「全国家族調査」(日本家族社会学会)のデータを中心として、近年の日本社会の家族変動に計量的分析という視点からアプローチするものです。現代日本における家族とそれを取り巻く諸制度の問題に関心をお持ちのかたがたに広くご参加いただきたく、ご案内申し上げます次第です。

記

日時： 2010年10月17日(日) 9:30～12:30

会場： 東北大学片平キャンパス(仙台市青葉区片平2-1-1)エクステンション教育研究棟3階302講義室

テーマ： 計量分析からみる家族変動：近年の日本社会における格差・意識・ライフコース

司会： 田中 重人(東北大学)

報告者と報告題目：

- 加藤 彰彦(明治大学)「日本の家族構造：変化・連続性・地域性」
- 西野 理子(東洋大学)「家族意識の変容」
- 鈴木 富美子(淑徳大学)「既婚女性の就業パターンとワーク・ライフ・バランス」
- 稲葉 昭英(首都大学東京)「非標準型家族とその経験」

事前予約等は不要です。

連絡先：田中 重人(東北大学大学院文学研究科)

研究室 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

Tel/Fax (022) 795-5994; E-mail qfam-info@sal.tohoku.ac.jp

インターネットでも情報を提供しております。<http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsiget/qfam/101017.html> をご覧ください。

「萩セミナー 2010」の情報は東北大学グローバルCOEプログラム「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」のWWWサイト<<http://www.law.tohoku.ac.jp/gcoe/>> をご覧ください。